

2014 年 11 月 20 日（木）配信在クリチバ日本国総領事館メールマガジン 409 号

20日付当地パラナ・オンライン紙（電子版）は、クリチバ市セントロ地区のホテルにおいて殺人事件が発生した旨報じているところ、概要を以下のとおり、お知らせ致します。

11月19日（水）午後21時30分頃、クリチバ市セントロ地区バロン・ド・リオ・ヴランコ通り(Rua Barao do Rio Branco)に所在するホテル「ヴィラ・ノブレ (Hotel Vila Nobre)」において、男性宿泊客が射殺された。

犯人は同ホテルを訪れフロント係社員と話した後、被害者が宿泊する部屋へ移動し、所持していたけん銃で射殺した。文民警察の調べによると、被害者は過去に麻薬取引の罪で収監歴があり、射殺された部屋からは少量の大麻が見つかったことから、殺害原因は麻薬関連の疑いがある由。

<当館からのお願い>

・今回事件が発生した事件現場は市内中心部で発生しており、麻薬絡みの可能性があるとのことです。当地治安悪化の最大要因である麻薬は、利権争い等で殺人事件に発展することが度々ありますので、不審者がたむろしている場所には近付かないよう注意が必要です。

・万が一このような事件の被害に遭われた場合は、速やかに軍警察 (Policia Militar、電話番号190) に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察 (Policia Civil、電話番号197) に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査等にも繋がるため、非常に大切であるとのこと。

・被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と（個人情報をおふせた上で）情報を共有するためにも、当館（担当：警備班・領事班）へご連絡いただければ幸いです。